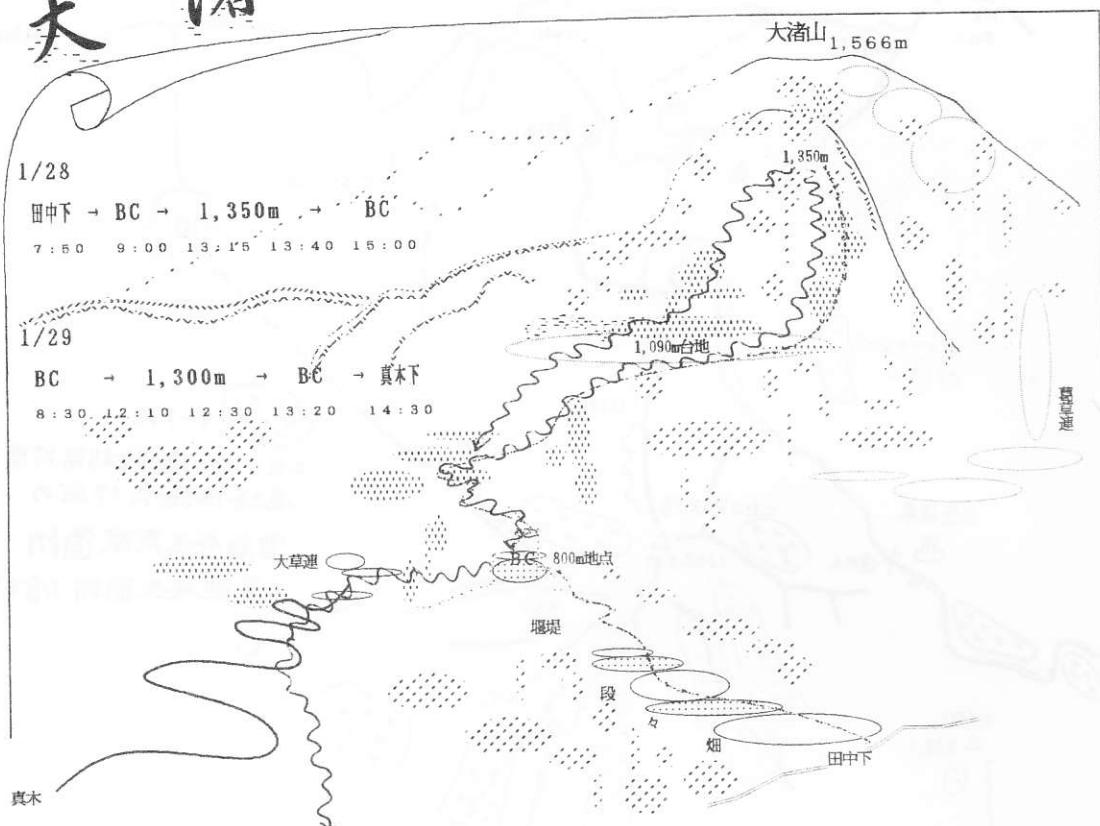


大渚山

’95. 1. 28 ~ 29

鈴木鉄也, (L大塚, 荒木)



1/28 (土)

バス終点の田中下から、段々畠の斜面を上がる。待てどもラストが上がって来ない。荷を置いて、迎えに行ってみると、道路脇の一段目の斜面を上がれなくて四苦八苦している。途中の民家の前を通り過ぎ、更に右手の斜面から小沢を渡り、三角州状の段丘に出てテント設営する。

真木からの道に出ると、赤布がしてある。1,090m上の台地への上がり易い斜面を探そうと、右へトラーバースして行くが、この斜面でも苦労している。朝のうちは雪だったが、すっかり晴れ上がった。台地の右端から、だんご雪で足かせ状態のまま、上がって行く。帰りも時間も要しそうなので、1時を過ぎた地点で引き返すことにした。

1/29 (日)

外が薄明るくなつて、時計を見るともう6時半だった。あれこれ煩いほど登り方を注意してみるものの、今日もピッチが上がらない。帰りが遅くなつてもイヤだし、昨日の到達点迄も届かないが、また引き返す。ある程度かってが判ってきたので、今日はもう少し、右へと広そうな斜面を選んで滑る。